



20年度決算の概要



薩摩川内市民の家計簿

薩摩川内市の平成20年度決算概要をお知らせいたします。

薩摩川内市の平成20年度決算概要をお知らせします。平成20年度の一般会計及び特別会計の決算は、歳入歳出差引28億9,001万円の残額を生じ、翌年度に繰り越す財源8億6,349万円を控除すると、実質収支は20億2,652万円となりました。

また、一般会計の市債残高は528億2,062万円と

前年度に比べ20億113万円のマイナスとなりましたが、昨年に引き続きまだ多くの市債残高の圧縮が必要な状況です。

今後も、市政改革大綱及び改革アクションプランの着実な実施により、一層の行財政改革の推進に努めます。

平成20年度に実施した主な投資的事業

- 土地区画整理事業
(天辰第一地区、川内駅周辺地区、入来温泉場地区)
- 道路整備事業
(一般道路整備事業、林道整備事業)
- 下水道事業
(公共下水道事業、漁業集落排水事業)
- 防災行政無線整備事業
(防災行政無線デジタル化整備事業)
- 地域情報化推進事業
(本土・甕島間ネットワーク増速整備事業)
- 小学校校舎建設事業
(育英小学校教室棟新増築工事)

平成20年度実質収支

	一般会計	特別会計
歳入	498億8,468万円	278億2,738万円
歳出	477億9,105万円	270億3,100万円
差引	20億9,363万円	7億9,638万円
翌年度へ繰り越す財源	5億7,404万円	2億8,945万円
実質収支	15億1,959万円	5億693万円

●「翌年度に繰り越す財源」とは？

平成20年度に事業を完了できず、平成21年度へ実施を繰り越した事業の財源です。

●「実質収支」とは？

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた額です。実質収支は、平成21年度において繰越金として新たな事業などの財源となります。

市有財産の現在高（平成20年度末）

区分	平成20年度末現在高	(前年度末との比較増減)
山林	8,039万5,408.25㎡	(254万639.22㎡増)
山林以外の土地	1,578万4,997.94㎡	(96万1,637.37㎡減)
建物	64万8,672.29㎡	(7,234.89㎡増)
有価証券	1億558万円	(300万円増)
出資による権利	2億2,266万円	(840万円増)
債権	8億9,837万円	(8,221万円減)
基金	137億6,354万円	(3億5,588万円増)

市債（市の借入金）の現在高

会計	項目	金額
一般会計	土木債	203億7,638万円
	臨時財政対策債	118億7,549万円
	農林水産業債	62億1,238万円
	教育債	34億5,827万円
	減税補てん債	30億7,812万円
	消防債	19億3,286万円
	総務債	18億392万円
	商工債	8億9,255万円
	衛生債	8億6,784万円
	民生債	6億9,503万円
	災害復旧債	4億4,179万円
	臨時税収補てん債	3億7,392万円
	減収補てん債	3億4,507万円
	公営企業出資債	3億4,351万円
特別会計	臨時財政特例債	1億370万円
	労働債	1,979万円
	一般会計合計	528億2,062万円
	公共下水道事業	55億2,843万円
	天辰第一地区土地区画整理事業	38億4,922万円
	簡易水道事業	25億3,731万円
	農業集落排水事業	20億9,317万円
	川内駅周辺地区土地区画整理事業	14億3,669万円
	漁業集落排水事業	5億3,583万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	5億117万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	2億6,062万円
	公共用地先行取得等事業	1億540万円
	浄化槽事業	5,759万円
	国民健康保険事業	3,743万円
企業会計	介護サービス事業	2,938万円
	温泉給湯事業	1,991万円
	特別会計合計	169億9,215万円
	水道事業	57億1,221万円
企業営	公営企業会計合計	57億1,221万円
全会計市債残高合計		755億2,498万円
前年度末全会計市債残高合計		776億7,269万円
比較増減		△21億4,771万円

市民1人あたりでは…

全会計市債残高	74万6,641円
前年度末全会計市債残高	76万3,721円
比較増減	△1万7,080円